



上級検定の方法と講習について

まず、既定の項目毎に検定を実施する。よって明らかに間違っていて危険な場合は検定を中止させる。検定後に、間違い、知らない技術について講習する。(改定 2006.6.2)

レスキュー技術検定チェックシート

- ◎良い (100点、教わらなくても正しく素早く出来る、あるいは装備している。)
- まあ良い (75点、教わらなくてもなんとか出来る、あるいは正しい装備品に近い。)
- △要練習 (50点、教わってようやく出来る、あるいは正しい装備品とはいえない。)
- ▲要指導 (25点、指導者がついてようやく出来る、正しい装備をしていない。)
- ×ダメ (0点、教わっても出来ない、あるいは装備していない。)

平成 年 月 日、場所 検定記入者

岩場でのレスキュー技術検定・上級				
氏名→				
引き上げ理論と効率的セット方法 (垂壁～空中)				
※講習項目、1/2システムでの引き上げ				
1/3システムでの引き上げ (2分/m)				
1/5システムでの引き上げ (2分/m)				
1/7システムでの引き上げ (2分/m)				
1/9システムでの引き上げ (2分/m)				
テラスからの降ろし技術				
1:1での背負ってのカウンターラッペル				
1:1での補助者のロープ操作による背負い降ろし				
1:2で補助者のロープ操作による降ろし				
1:2で担架による降ろし (ロープ担架)				
※講習項目、レスキューシートの使用は講習項目とする				
カウンタラッペル技術				
空中でのカウンタラッペル技術				
ハングでの宙吊りからカウンタラッペルの救出技術				
キャッチから同時降りによる救出				
キャッチから先降りによる救出				
救助者の登り返しによる救出				
トラバースルートでの救助方法				
トラバースルートでの宙吊りからの救出技術				
空中での懸垂下降失敗者の救助方法				
懸垂下降支点 (上部) からの救出 (同一ロープ)				
下降地点 (下部) からの救出 (同一ロープ)				
登攀中のあらゆる状況での救助方法 (課題)				
2P (80m以内) の中にハング、トラバースを含む				

ルートに宙吊り状態を設定し救助にあたらせる。				
ケガ人の応急処置				
頭の怪我、手足の骨折箇所の手当て				
梱包、搬送技術				
ロープ担架の作成				
背負い搬送				
筆記試験				

合計点				
平均点				
合 否（70点以上を合格とする。）				

検定員の講評